

研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

去勢抵抗性前立腺癌における転移巣指向性治療の臨床的意義に関する後ろ向き観察研究

1. 研究の対象および研究対象期間

2018 年 1 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日に昭和医科大学病院泌尿器科で去勢抵抗性前立腺癌と診断され、転移巣または局所進行病変に対して転移巣指向性治療を受けた患者さん

2. 研究目的・方法

本研究は、去勢抵抗性前立腺癌の患者さんに対して行われた診療内容を後ろ向きに解析し、限局的に進行した転移病変に対して放射線治療などの局所治療を行った場合に、現在の治療をどの程度継続できるか、また次の治療に移行するまでの期間にどのような影響を与えるかを明らかにすることを目的としています。診療録（電子カルテ）を用いて、年齢、病期、これまでの治療内容、局所治療の内容、治療後の経過（PSA 値の変化、画像検査結果、次の治療開始時期など）を調査します。

本研究のために新たな検査や治療を行うことはなく、通常の診療で得られた情報のみを用いて解析を行います。また、個人が特定されないように情報を加工したうえで研究を実施します。

3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2028 年 3 月 31 日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究では、新たに血液や組織などの試料を採取することではなく、通常の診療で得られた情報のみを使用します。

具体的には、電子カルテに記録されている以下の情報を使用します。

- 年齢、診断時の状態（病期や悪性度など）
- これまでに行われた治療内容（ホルモン療法、内服薬、抗がん剤治療など）
- 転移病変に対する放射線治療などの局所治療の内容
- 血液検査（PSA 値など）の結果
- 画像検査（CT、MRI、骨の検査など）の結果

- 治療後の経過（次の治療を開始した時期、病状の変化など）
- 治療に伴う副作用や体調の変化

これらの情報は、氏名や患者番号などの個人を特定できる情報を削除した上で解析を行い、個人が特定されることはありません。

5. 外部への試料・情報の提供

該当いたしません。

6. 研究組織

研究責任者	昭和医科大学医学部泌尿器科学講座 教授	氏名	押野見 和彦
研究分担者	昭和医科大学医学部泌尿器科学講座 教授	氏名	深貝 隆志
	昭和医科大学医学部泌尿器科学講座 講師	氏名	中神 義弘
	昭和医科大学医学部泌尿器科学講座 講師	氏名	山岸 元基
	昭和医科大学医学部泌尿器科学講座 助教	氏名	菊名 航太

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学医学部泌尿器科学講座	氏名：押野見 和彦
住所：東京都品川区旗の台 1-5-8	電話番号：03-3784-8560